

# **品川区学校改築計画指針**

**平成14年5月**

**学校改築検討委員会**

## はじめに

平成14年度から新たな学習指導要領が全面実施され、自ら学び考える力、学び方やものの考え方の育成を図るため、体験学習、問題解決型学習など子ども達の自主性や主体性をより重視する授業が行われるようになりました。また、学校週5日制の完全実施に伴い、学校、家庭、地域の相互連携がより一層大切になり、学校が担う役割がさらに重要になると考えられます。

折りしも、昭和30年代以降木造から鉄筋コンクリート造に改築された小中学校校舎が老朽化により改築の時期を迎えております。学校改築に際しては、教育方法等の多様化に柔軟に対応できると共に地域の人々との交流、施設の開放や生涯学習の場としての活用が可能な施設づくりを進める必要があります。

ここに策定した学校改築計画指針は、教育改革の動向およびプラン21に示された学校教育の将来構想を踏まえつつ、21世紀の夢のある学校の方向性を示すものです。

今後、この指針をもとに快適な教育環境の総合的充実を目指し、学校づくりに努力してまいります。

平成14年5月

品川区教育委員会

教 育 長 若 月 秀 夫